

開成営農経済センターからのお知らせ

予告!

開成営農経済センター:夏の展示即売会を

7月20日(土)に実施予定です!!

詳細は、来月のセンターだよりにてお知らせいたします。

今月の注文書等について

「防鳥資材」「被覆植物種子」「稲干ポニー」
※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

6月の自己取り商品について

「ラウンドアップマックスロード」

令和6年6月20日(木)・21日(金)・22日(土)

9:00~15:00の間に取りに来てください。

(上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。)

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。 土曜日以外は在籍予定ですが、都合により不在の場合がございます。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 6月11日・25日となります。

水稻苗購入者の方へ

苗箱の返却は、最寄の支店又は営農経済センターへお願いします。

返却の際は「水稻苗 苗箱返却表」を添付してください。

※開成営農経済センターへの返却は、5月中はご遠慮ください。(6月に入ってからお願い致します。)

※開成育苗センターへの返却は、6月16日(日)午前8時30分~11時をお願いします。

2024 開成あじさいまつり開催に伴う交通規制のお知らせ

あじさいまつり開催期間 6月8日(土)~16日(日)

昨年同様、グリーンセンター周辺道路にて交通規制が実施されますので、ご来店の際はご注意下さい。

規制時間帯 平日 (6月10日~14日) 10時~17時

土・日(6月8日・9日・15日・16日) 9時30分~17時

※あじさいまつり観覧の為の駐車はご遠慮ください。

～作物管理情報～

——【柑 橘】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月中～下旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤 600倍 又はペンコゼブ水和剤 166g/水100㍓
【温州みかん】収穫30日前 4回 【温州ミカンを除く】収穫90日前 4回
- ミカンハダニ アタックオイル 又は ハーベストオイル 又は スプレーオイル
150倍 666ml/水100㍓
- カイガラムシ類
- ミカンサビダニ ハチハチフロアブル(劇) 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100㍓
又はコテツフロアブル(劇) 収穫前日 2回 6,000倍 16ml/水100㍓
(発生園に散布)

※すす病はアブラムシ・コナジラミ・カイガラムシ類の排泄物に繁殖したカビが原因であり、害虫の防除が重要になる。カイガラムシ類の多発園では下記の通りとする。

【温州みかん】アプロードエースフロアブル 収穫14日前 2回 1,000倍

【温州みかんを除く】アプロードエースフロアブル 収穫45日前 2回 1,000倍

※アプロードエースフロアブルはミカンサビダニにも効果あり。

※ミカンナガタマムシ・ゴマダラカミキリ成虫の発生園では、エクシレルSE(注文取寄品) 5,000倍前日 3回を散布する。

摘果 (大津・青島)

大津・青島は大玉果になりやすいので、表年の樹はこの時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょう。

摘果 (不知火・はるみ)

不知火・はるみは樹冠上部に着果させると樹勢の低下につながります。

生理落果が始まったら樹勢強化の為、樹冠上部1/3～1/4は全摘果し樹勢の強化を図りましょう。

——【レモン】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月中旬～下旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤 収穫90日前 4回 600倍 166g/水100㍓
又はペンコゼブ水和剤 収穫90日前 4回 600倍 166g/水100㍓
- ミカンハダニ アタックオイル 又は ハーベストオイル 又は スプレーオイル
150倍 666ml/水100㍓
- カイガラムシ類
- ミカンサビダニ コテツフロアブル(劇) 収穫前日 2回 6,000倍 16ml/水100㍓
又はハチハチフロアブル(劇) 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100㍓

※カイガラムシ類が前年多発した園ではアプロードエースフロアブル 収穫45日前 2回 1,000倍 又はスタークル顆粒水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 を6月上旬に散布しましょう。アプロードエースフロアブルとスタークル顆粒水溶剤はアブラムシ類にも効果があります。スタークル顆粒水溶剤はミカンハモグリガにも効果があります。

施肥 6月上中旬

夏肥施用 みかん配合 160kg/10a

——【か き】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

5月下旬～6月上旬

- カキノヘタムシガ・ フェニックスフロアブル 4,000倍 収穫7日前 2回 25ml/水100㍓
ハマキムシ・ケムシ類
- 落葉病・うどんこ病・炭疽病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100㍓

追肥 6月中下旬

柿配合 50kg/10a

摘果

生理落果が終了する7月中旬までに1結果母枝2～3果にしましょう。

【水 稲】

水管理 田植え後、4～5日は水温を保つため深水とします。(掛け流しはしない)
以降は3～5cm前後の深さを保ちましょう。

雑草防除 主な除草体系(例)

通常	一発処理剤(トップガンR1 [®] 粒剤など)
雑草多発田	一発処理剤+後期剤(クリンチャーバスME液剤 など)
ノビエ多発田	一発処理剤+中・後期剤(ヒエクリーン1 [®] 粒剤、クリンチャーバスME液剤、クリンチャーEW など)
コナギ多発田	一発処理剤+後期剤(バサグラン粒剤 など)
クログワイ多発田	クログワイに効果のある一発処理剤(トップガンR1 [®] 粒剤など)+後期剤(バサグラン粒剤、クリンチャーバスME液剤など)
藻類多発田	一発処理剤+モゲトン粒剤

* 水稲の一発処理剤(および初期剤)は、移植後日数の早い時期に散布するよう心がけ、散布後7日間は止め水にし、湛水状態を保ちましょう。

* 水稲除草剤の散布時期は薬剤によって異なるので、ラベルをよく確認しましょう。

【お 茶】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

二番茶の摘採 一番茶摘採から45日後が目安となります。

病害虫防除 ※安全使用日数や周辺の摘採日程に十分留意し防除しましょう。

6月上旬～6月中旬 (二番茶摘採園)

○チャノド 此刈 パイ

チャノド ミ

カザ ワダ ニ

チャノ コザ ミ

コテツフロアブル(劇) 2,000倍 摘採7日前 2回 50ml/水100[㍓]

※チャトゲコナジラミを対象とする場合は6月上旬に散布する。

○チャノホソガ多発時 カスケード乳剤 4,000倍 摘採7日前 2回 25ml/水100[㍓]

○もち病・炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 摘採7日前 2回 33ml/水100[㍓]

※新梢枯死症対策として使用する場合は2,000倍 摘採7日前 2回 50ml/水100[㍓] とします。

6月下旬～7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 摘採14日前 2回 100g/水100[㍓]
(輪斑病菌による)

*剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布しましょう。

施 肥

(一番茶摘採のみの場合) 6月下旬 なたね粕 100kg/10a

(二番茶摘採を含む場合) 二番茶摘採15日前 硫 安 40kg/10a

二番茶摘採後 なたね粕 100kg/10a

一番茶の芽出し肥を多く施用した方は、二番茶の芽出し肥を減らしてください。

【く り】

病害虫防除 6月中旬～6月下旬

○アブラムシ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫7日前 3回 25g/水100[㍓]

○実炭疽病 バルト水和剤 3,000倍 裂果前、但し収穫14日前まで 4回 33g/水100[㍓]

6月下旬～7月下旬

○カサリムシ類 トラサイドA乳剤 200倍 裂果前、但し収穫14日前 1回 500ml/水100[㍓]

※樹幹部に十分散布する。葉にかかるとう薬害を生じるので、注意する。

——【キウイフルーツ】——

病害虫防除

6月～8月 ○カメムシ発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

6月中旬 ○果実軟腐病 トップジンM水剤 1,000倍 収穫前日 5回 100g/水100㍓

又は フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50ml/水100㍓

○キイロイガ・ハマキムシ類 フェニックスフロアブル 4,000倍 収穫7日前 3回 25ml/水100㍓

夏肥

6月上旬

キウイ配合 80kg/10a

初期肥大促進のために重要。着果が多くなる場合は、20～40kg増量します。

摘果

2回以上に分けて摘果しましょう。

・荒摘果 6月上～中旬

奇形・扁平・傷・病害・小玉果を除去。荒摘果はできるだけ早く行くと果実肥大が良好になります。

・仕上げ摘果 6月下～7月上中旬

奇形果・傷果・小玉果から摘果する。1㎡あたり25着果を目標に摘果しましょう。

——【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月上中旬（漬け梅に散布）

○黒星病・すす斑病 インダーフロアブル 5,000倍 収穫前日 2回 20ml/水100㍓

収 穫

収穫後の取扱いは丁寧におこないましょう。果実の打撲傷はその時は目立たなくとも後日変色し、出荷先や購入者からのクレームの原因となります。

（梅干用）果実表面の毛じが半分以上脱落し、果面に光沢が出てきた頃になります。

1 樹を1度に収穫せずに期間を空けて2回以上にわけ、未熟果は出荷をしないようにしましょう。

——【いちじく】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月上旬 ○アザミヤカ類・カミキリムシ類 ダントツ水溶剤 2,000倍 収穫3日前 3回 50g/水100㍓

○疫病 Zボルドー 1,000倍（葉害軽減のためクレフノン200倍加用）

6月中下旬 ○アザミヤカ類 エスピーエー顆粒水溶剤（劇） 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

○疫病 ランマンフロアブル 2,000倍 収穫前日 3回 50ml/水100㍓

※6月～10月に園内に飛来する、カミキリムシ類の成虫を見つけた場合は直ちに捕殺する。食入部には6月～10月にロビンフッド（収穫前日 5回 樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射）を使用する。（使用時のノズルは使用方法に従う）

追肥

6月～7月

生育状況に応じて、NK化成2号を20～40kg/10aを施用する。（※生育が順調な場合は施用しない。）

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

＜注意＞農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

・「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

・「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

※店舗により農薬の在庫状況が異なります。記載の農薬を購入される場合は事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。